41 01 08 04 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	駅周辺維持整備事業	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係	管理番号	4102
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政分野別 計画施策 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	深谷市駅周辺都市基盤整備基金条例				
中項目	200002 交通アクセスの便利なまちづくり						
小項目	200002 公共交通の維持確保と交通安全の推進						

事業概要	駅周辺整備を進めることにより、交通結節点としての鉄道駅の機能向上を図る。 また、深谷市駅周辺都市基盤整備基金条例に基づき、基金積立（預金利子の積立）を行う。
目的 ※何のために	駅利用者の円滑な交通の確保
対象 ※誰・何を対象に	誰：駅利用者 何：駅周辺
手段 ※どのように	都市基盤整備の推進
成果 ※何を求めるか	鉄道駅の機能向上
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	08	土木費	04	都市計画費	01	都市計画総務費	駅周辺都市基盤整備基金積立金	668,626
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 基金積立	・
・ 駅周辺整備に関する企画調整	・
・ 駐車場・路外駐車場に関する総合調整	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	
事業費	予算（現額）		918,000	576,000	669,000	416,000	417,000	
	決算額		917,023	575,064	668,626	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	536,000	541,000	517,000	416,000	417,000	
		一般財源	381,023	34,064	151,626	0	0	
人件費	従事職員数（人）		0.19	0.15	0.15	0.30	0.30	
	人件費相当試算 ※1		1,478,010	1,167,300	1,179,150	2,444,400	2,444,400	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			2,395,033	1,742,364	1,847,776	2,860,400	2,861,400	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標１	駅周辺整備件数	目標値	件							■
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		※近年では、Ｈ２６に深谷駅南口スロープ設置工事など行っている。							
□			目標値								■
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値								■
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値								■
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値								■
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値								■
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 今年度も深谷駅周辺において整備を要す事業が発生しなかった。今後も駅利用者の要望などから必要性を見極め、必要に応じて事業展開を検討したい。
成果 （意図した成果が上がっているか）		目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	交通政策係長　新井　一富

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	深谷市の駅利用者の意向調査も重要であるが、全国的に駅周辺は再整備等を行っている事業事例が数多くある。状況によってはこれら先進地事例を参考に関係部局、関係企業とも連携を図り整備を行う。
達成状況 及び その効果	今後も深谷市の駅周辺の関し利用者からの要望などに注視し、施設の機能向上を目標とする事業の必要性を慎重に見極め、今後の事業展開を検討したい。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	駅周辺維持整備事業	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係	管理番号	4102

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

深谷市の駅周辺整備に関しては、要望など利用者ニーズを基に機能向上を検討したい。鉄道事業者と連携を図りつつ、無駄にならないよう必要性を判断しながら事業実施を検討したい。

評価者	都市計画課長　吉田　稔

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

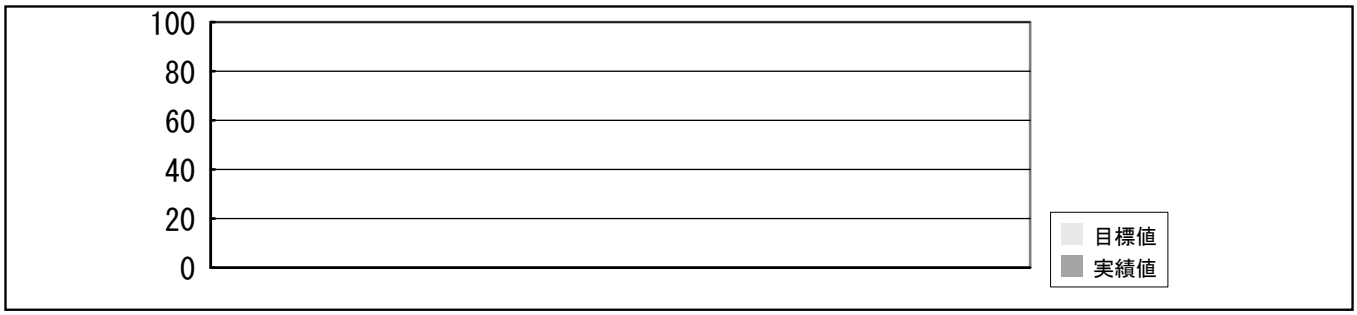
改善・改革案	人口減少に伴い、鉄道利用者は減少傾向にある。運賃減少を理由に鉄道事業者による設備投資が縮小された今、鉄道駅周辺施設の維持向上、更には、駅周辺の再整備など、端に補修等の維持修繕費に充てるのではなく、必要性を判断し行う必要がある。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

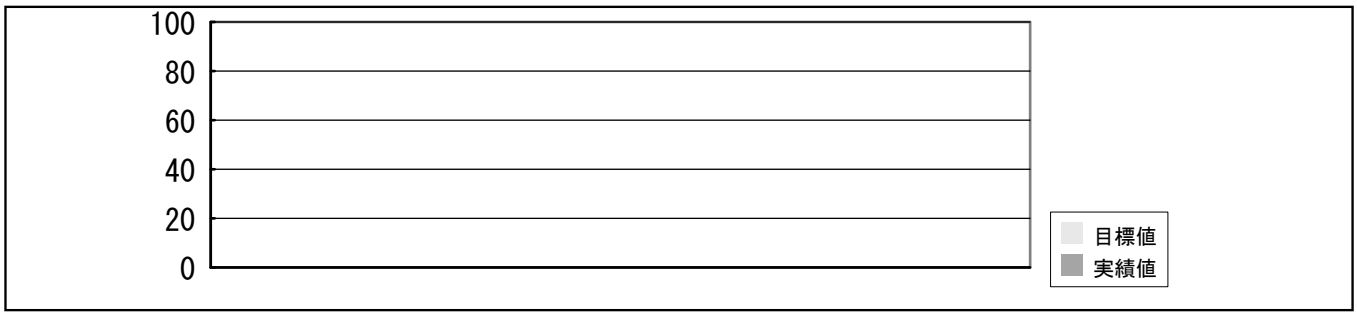
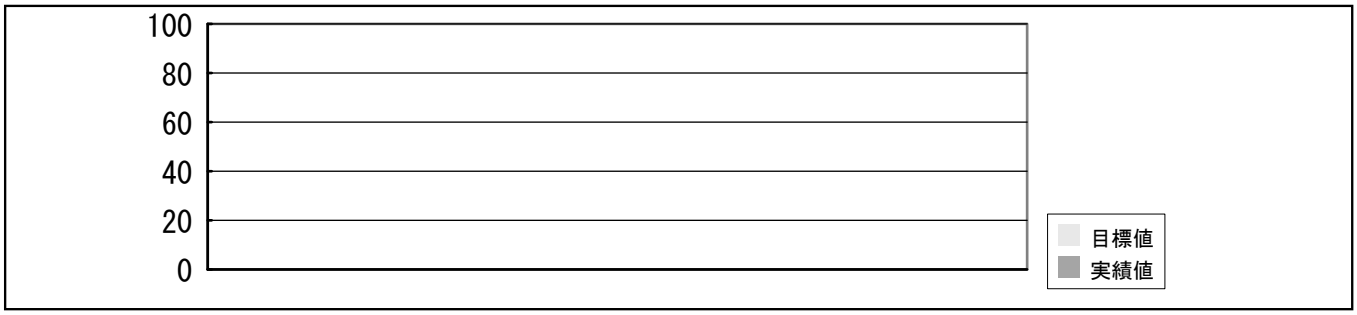
今後の課題	必要であれば、深谷市の駅周辺整備計画等、駅利用者の利便性向上策を考案し、基金の有効活用に努めたい。

９．評価指標グラフ

区分		指標名	



区分		指標名	



区分		指標名